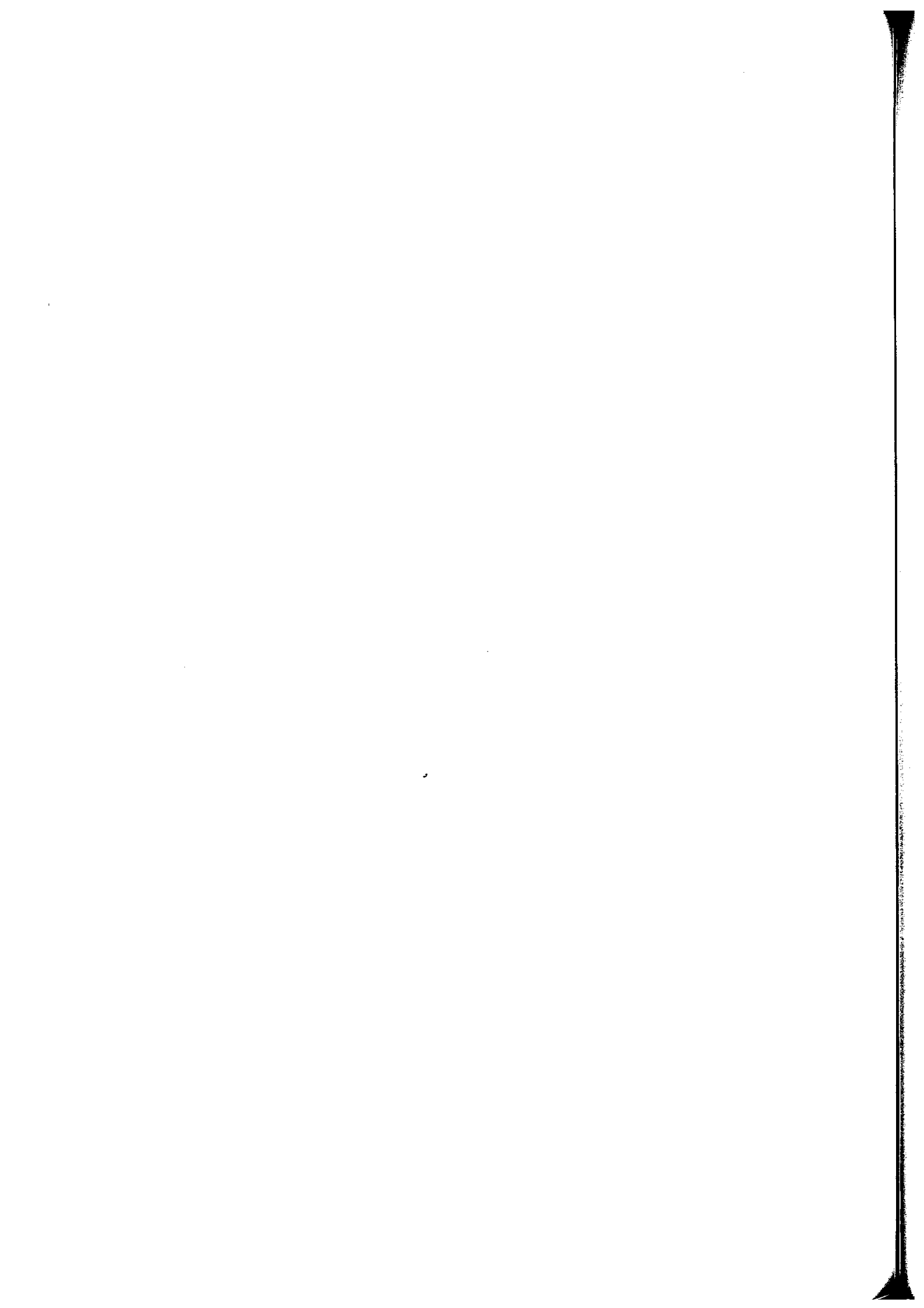


第3章 関係機関等の救援・救助活動等



第1 公的機関の活動状況

1 警察

北海道警察では、7月12日22時30分、本部に「北海道警察災害警備本部」を、各方面本部に「方面災害警備本部」を、江差警察署など16警察署に「現地災害警備本部」を設置し、災害情報の収集（道、市町村、海上保安本部、漁業協同組合等の関係機関との連携による災害情報の収集）、駐在所・派出所員による避難誘導及び負傷者の救助・救出、交通規制、広報等の災害警備活動、機動隊・航空隊（ヘリコプター4機）・海上捜索隊（警備艇2隻）を活用した行方不明者の捜索と収容・検視・身元確認、被害実態調査、被災地における盗犯等の予防・取締のための警戒、道内外の遺族等からの身元照会、被災住民の遺失免許証の再交付等の困り事相談・行方不明者相談を実施した。

北海道警察航空隊は、地震発生後4機のヘリコプターを道南の被災地に向け出動させた。7月13日0時30分には「ぎんれい2号」が日本海側の被害状況調査のため出動したのを皮切りに、1時00分には北海道防災救急ヘリコプター「はまなす」が人員輸送のため奥尻島に向かったほか、4時45分には「ぎんれい3号」が奥尻島の被害状況調査のため奥尻島に向かい、5時35分には「ぎんれい1号」が人員輸送のため奥尻島に向かった。これらヘリコプターは、乙部町公共ヘリポート、北海道防災救急ヘリコプター今金給油施設を活動拠点としていたが、乙部町公共ヘリポートは報道関係ヘリコプターと消防ヘリコプターも使用していたため、駐機場所の確保と燃料補給が困難であったので、7月15日から乙部町民グラウンドを臨時ヘリポートとして使用した。今金給油施設は道直営の給油施設であるため駐機には何ら支障を生じなかったが、燃料の使用量が急増したので逐次燃料を補給した。

北海道警察では、8月31日までヘリコプター4機、警備艇2隻を出動・待機させ、9月30日まで延べ40,227人の人員を動員した。

また、北海道警察では、警視庁航空隊及び水難救助隊に派遣要請を行い、2機のヘリコプターと三次にわたり52人の水難救助隊員が派遣され、人員・物資の輸送、海中における行方不明者の捜索活動を実施した。水難救助隊は主に奥尻町青苗漁港を中心に行方不明者の捜索を実施したが、港内には津波により流出した家屋の残骸や車両、漁網が散乱し、流出した土砂により視界が悪く、まさに手探り状態による最悪の条件下での捜索となった。水難救助隊は北海道警察アクアリング隊と緊密な連絡をとったほか、海上保安庁、海上自衛隊などとも協力し捜索を行なった。このほか、大阪府警察本部からもヘリコプター1機が派遣された。

2 自衛隊

① 陸上自衛隊

檜山支庁は、奥尻町及び大成町で地震により多数の死傷者が発生したとの情報を得、7月13日0時18分、第11師団に災害派遣を要請し、11師団では7月31日7時00分に撤収するまでの間、奥尻町及び大成町で人命救助、行方不明者の捜索、緊急患者輸送、緊急物資輸送、救護、防疫、給水活動を実施した。

渡島支庁は、長万部町で地震により上水道配水管の折損のため2,990戸が断水となったため、7月13日1時15分、第28普通科連隊に災害派遣を要請し、28普通科連隊では7月19日17時00分に撤収するまでの間、長万部町長万部、国縫、中の沢の2,990戸に水トレーラー車5台で給水活動を実施した。

後志支庁は、島牧村で地震により水道管が破損し250戸が断水となったため、7月13日2時00分、第29普通科連隊に災害派遣を要請し、29普通科連隊では7月15日8時00分に撤収するまでの間、島牧村栄浜の250戸に小型車両2台、大型車両12台、水トレーラー車12台で給水活動を実施した。

これら陸上自衛隊の派遣規模は、人員延べ19,709人、車両延べ961両、航空機558機となった。

陸上自衛隊の活動実績

活動内容	現地投入延べ人員	活動成果
行方不明者の捜索	2,132人	47遺体を発見し収容
負傷者・患者の治療	205人	476人を治療
給水支援	174人	302.3トン进行給水
防疫活動	54人	304戸を防疫
負傷者・患者空輸	42人	21人を空輸
空輸支援（部外）	（航空機）54機	人員61人、物資7トン进行空輸

② 海上自衛隊

地震により奥尻島と本道の輸送路が途絶したため、奥尻島への人員・物資の輸送と給水支援のため、道は7月13日4時45分、大湊地方総監部に災害派遣を要請した。

大湊地方隊では、第23護衛隊の護衛艦「ゆうぐも」、輸送艦「ねむろ」が食糧、毛布、被服、医薬品等を積載して青森県大湊港を出港し奥尻島に向かった。第23護衛隊の護衛艦「あおくも」も陸上自衛隊員を奥尻島に輸送するため函館に向かった。

さらに道では7月15日12時30分、行方不明者の海上捜索を大湊地方総監部に要請し、第1掃海隊群の掃海母艦「はやせ」、第14掃海隊の掃海艇「やくしま」「なるしま」「ひこしま」、第16掃海隊の掃海艇「ぬわじま」「えたじま」が24人の水中処分員（潜水員）を伴い大湊港を出港したほか、大湊地方隊の特務船が14人の水中処分員を伴い大湊港を出港し奥尻島に向かった。

7月15日からは余市防備隊から連絡幹部が道の災害対策本部に派遣され、道との連絡調整にあたった。

7月18日からは、第23護衛隊「あおくも」「ゆうぐも」にかわり護衛艦「あきぐも」、第35護衛隊の護衛艦「ゆうべつ」、21日からは輸送艦「あつみ」、22日からは第1掃海隊群にかわり第2掃海隊群の機雷敷設艦「そうや」、第13掃海隊の掃海艇「おおしま」「にいじま」、第20掃海隊の掃海艇「あわしま」「さくま」、25日からは特務艦「きたかみ」、26日からは第21掃海隊の掃海艇「うわじま」「いえしま」「つきしま」、29日からは第17掃海隊の掃海艇「ははじま」「かみしま」が海上捜索にあたり、対潜哨戒機P-3C、対潜哨戒ヘリコプターHSS-2Bも連日海面の捜索にあたった。

艦艇と航空機は奥尻島近海での海面捜索を実施したが、海上保安庁も巡視船艇と航空機により海上捜索を実施していたので、捜索範囲について相互に連絡を密にしながら捜索活動を行なった。

水中処分隊は奥尻島沿岸で潜水捜索を実施したが、沿岸には津波により流出した家屋の残骸や車両、漁網、土砂が散乱し、水中での作業は木片などの浮遊物を手でかきわけて行なわなければならない、さらに水中の視界が0.5メートル程度で手先までしか見通せない状況であり、捜索活動は極端に制約を受けた。このような最悪の条件のなか、同様に水中での捜索活動を行っていた海上保安庁や警察、消防と捜索範囲や捜索方法について毎日のように緊密な連絡をとりあいながら捜索を実施した。捜索当初はこのような連絡体制はなかったため捜索範囲が重複したこともあったが、次第に現場での連絡体制ができあがり、円滑な捜索活動に役立った。

海上自衛隊では、8月10日8時00分に撤収するまでの間、艦艇延べ177隻、航空機延べ70機、人員延べ12,003人が派遣された。

③ 航空自衛隊

奥尻島には航空自衛隊のレーダー基地である第29警戒群があるが、奥尻町は地震後ただちに29警戒群に災害派遣を要請し、29警戒群ではただちに崖崩れのため土砂に押しつぶされたホテル洋々荘での

救助活動を実施するなど、島内での迅速な救援活動を行なった。

檜山支庁では、7月12日22時35分、北部航空方面隊及び航空総隊に災害派遣を要請し、航空自衛隊では行方不明者の捜索・救助活動、土砂崩れで倒壊したホテル洋々荘近辺の交通整理、倒壊建物の整理、救援物資の島内輸送、被災住民への給水・給食、医療救護、救援要員・資機材の空輸を実施した。

7月16日からは、第2航空団の連絡幹部が道の災害対策本部に派遣され、道との連絡調整にあたった。

航空自衛隊では8月12日8時00分に撤収するまでの間、車両延べ559両、航空機延べ218機、人員延べ5,506人が派遣された。

3 海上保安庁

7月12日22時22分、札幌管区气象台から3区に大津波、2区に津波警報が発表されたが、第一管区管内の海上保安部署では港湾関係者にこれを周知するとともに、巡視船艇により船舶や釣人にこれを伝達し、在港船舶に港外への避難を勧告した。

第一管区海上保安本部では、7月12日22時50分、「第一管区北海道南西沖地震対策本部」を設置し、8月31日に対策本部を解散するまでの51日間、巡視船艇延べ677隻、航空機延べ219機、特殊救難隊・潜水士延べ984人、総人員延べ40,042人を動員し、災害の救援や行方不明者の捜索等の活動を実施した。

对策本部勢力数 (第一管区海上保安本部資料)

	巡視船艇	航空機 (人員に於ては巡視船搭載機分は除く)	汎用船 設標船	特救隊	潜水士 (巡視船乗組員)	陸上職員	合計
13日	20 隻 650	10 機 49	2 隻 49	11 名	(34 名)	371 名	22隻10機 1130 名
14日	20 隻 616	9 機 25	2 隻 49	11 名	(34 名)	371 名	22隻9機 1072 名
15日	20 隻 616	8 機 27	2 隻 49	11 名	(34 名)	371 名	22隻8機 1074 名
16日	21 隻 660	10 機 27	1 隻 25	11 名	(34 名)	371 名	22隻10機 1094 名
17日	29 隻 801	9 機 20	1 隻 25	11 名	(34 名)	371 名	30隻9機 1228 名
18日	27 隻 781	10 機 27	1 隻 25	11 名	(34 名)	371 名	28隻10機 1215 名
19日	28 隻 784	12 機 37	0 隻 0	4 名	(33 名)	371 名	28隻12機 1192 名
20日	28 隻 784	11 機 32	1 隻 25	4 名	(33 名)	371 名	29隻11機 1212 名
21日	26 隻 774	10 機 32	1 隻 25	13 名	(33 名)	371 名	27隻10機 1211 名
22日	27 隻 808	5 機 15	1 隻 25	13 名	(33 名)	371 名	28隻5機 1228 名
23日	27 隻 808	7 機 20	1 隻 25	13 名	(42 名)	371 名	28隻7機 1233 名
24日	27 隻 811	6 機 15	1 隻 25	13 名	(38 名)	371 名	28隻6機 1231 名
25日	28 隻 852	5 機 12	1 隻 25	9 名	(34 名)	371 名	29隻5機 1269 名
26日	29 隻 857	7 機 22	1 隻 25	9 名	(35 名)	371 名	30隻7機 1284 名
27日	29 隻 857	8 機 15	0 隻 0	9 名	(24 名)	371 名	29隻8機 1252 名
28日	26 隻 812	5 機 10	0 隻 0	9 名	(24 名)	371 名	26隻5機 1202 名
29日	25 隻 768	4 機 10	0 隻 0	5 名	(24 名)	371 名	25隻4機 1154 名
30日	22 隻 655	4 機 10	0 隻 0	5 名	(15 名)	371 名	22隻4機 1041 名
31日	21 隻 639	0 機 0	0 隻 0	0 名	(15 名)	371 名	21隻0機 1010 名
8月 1日	17 隻 515	5 機 5	0 隻 0	0 名	(15 名)	371 名	17隻5機 891 名
2日	16 隻 500	3 機 5	0 隻 0	0 名	(15 名)	371 名	16隻3機 876 名
3日	14 隻 446	5 機 17	0 隻 0	0 名	(15 名)	371 名	14隻5機 834 名
4日	14 隻 438	3 機 10	0 隻 0	0 名	(15 名)	371 名	14隻3機 819 名
5日	11 隻 341	4 機 12	0 隻 0	0 名	(15 名)	371 名	11隻4機 724 名
6日	11 隻 341	4 機 10	0 隻 0	0 名	(15 名)	371 名	11隻4機 722 名
7日	9 隻 309	3 機 7	0 隻 0	0 名	(15 名)	371 名	9隻3機 687 名
8日	6 隻 222	3 機 5	0 隻 0	0 名	(8 名)	371 名	6隻3機 598 名
9日	6 隻 222	3 機 12	0 隻 0	0 名	(8 名)	371 名	6隻3機 605 名
10日	5 隻 178	3 機 12	0 隻 0	0 名	(8 名)	371 名	5隻3機 561 名
11日	0 隻 0	0 機 0	0 隻 0	0 名	(0 名)	371 名	0隻0機 371 名
小計	589 隻 17845 名	176 機 500 名	16 隻 397 名	148 名	(716 名)	11130 名	605 隻 176 機 30020 名

对策本部勢力数

	巡視舟艇	航空機 (人員に付随し巡視船搭載機分は除く)	測量船 設標船	特救隊	潜水士 (巡視船乗組員)	陸上職員	合計
8月12日	5隻 178名	3機 10名	0隻 0名	0名	(0名)	371名	5隻3機 559名
13日	5隻 178名	4機 10名	0隻 0名	0名	(8名)	371名	5隻4機 559名
14日	5隻 170名	3機 5名	0隻 0名	0名	(0名)	371名	5隻3機 546名
15日	4隻 141名	2機 5名	0隻 0名	0名	(7名)	371名	4隻2機 517名
16日	3隻 97名	3機 10名	0隻 0名	0名	(7名)	371名	3隻3機 478名
17日	3隻 97名	3機 10名	0隻 0名	0名	(7名)	371名	3隻3機 478名
18日	3隻 97名	2機 5名	0隻 0名	0名	(7名)	371名	3隻2機 473名
19日	4隻 124名	3機 10名	0隻 0名	0名	(7名)	371名	4隻3機 505名
20日	5隻 177名	3機 10名	0隻 0名	0名	(5名)	371名	5隻3機 558名
21日	4隻 134名	2機 7名	0隻 0名	0名	(5名)	371名	4隻2機 512名
22日	3隻 107名	0機 0名	0隻 0名	0名	(5名)	371名	3隻0機 478名
23日	3隻 107名	2機 5名	0隻 0名	0名	(5名)	371名	3隻2機 483名
24日	3隻 107名	1機 0名	0隻 0名	0名	(6名)	371名	3隻1機 478名
25日	3隻 107名	2機 10名	0隻 0名	0名	(6名)	371名	3隻2機 488名
26日	3隻 107名	3機 10名	0隻 0名	0名	(6名)	371名	3隻3機 488名
27日	3隻 108名	1機 0名	0隻 0名	0名	(6名)	371名	3隻1機 479名
28日	3隻 108名	0機 0名	0隻 0名	0名	(6名)	371名	3隻0機 479名
29日	4隻 136名	2機 5名	0隻 0名	0名	(13名)	371名	4隻2機 512名
30日	3隻 100名	2機 5名	0隻 0名	0名	(7名)	371名	3隻2機 476名
31日	3隻 100名	2機 5名	0隻 0名	0名	(7名)	371名	3隻2機 476名
小計	72隻 2480名	43機 122名	0隻 0名	0名	(120名)	7420名	72隻43機 10022名
合計	661隻 20301名	219機 622名	16隻 397名	148名	(836名)	18550名	677隻219機 40042名

船型別・機種別延べ勢力数 (第一管区海上保安本部資料)

	第一管区船艇・航空機 (型別)		派遣船艇・航空機 (型別)		合計	
船艇	PLH	53隻 2385名	PLH	100隻 4578名	PLH	153隻 6963名
	PL	118隻 3886名	PL	71隻 2400名	PL	189隻 6286名
	PM	236隻 6341名	PM	隻 名	PM	236隻 6341名
	PS, PC, CL	83隻 735名	PS, PC, CL	隻 名	PS, PC, CL	83隻 735名
	HL		HL	13隻 325名	HL	13隻 325名
	LL		LL	3隻 72名	LL	3隻 72名
	計	490隻 13347名	計	187隻 7375名	計	677隻 20722名
航空機	LAJ		LAJ	4機 20名	LAJ	4機 20名
	LA	14機 98名	LA	2機 14名	LA	16機 112名
	MA	37機 185名	MA	1機 5名	MA	38機 190名
	MH	85機 250名	MH	76機 50名	MH	161機 300名
	計	136機 533名	計	83機 89名	計	219機 622名

一管本部はただちに巡視船「しれとこ」「さろべつ」「そうや」「れぶん」「だいおう」「ましゅう」「びほろ」「ちとせ」「くなしり」「つがる」「もとうら」「りしり」を奥尻島周辺海域に急行させた。また、二管本部の巡視船「ざおう」「おじか」「ちょうかい」、三管本部の巡視船「やしま」、九管本部の巡視船「えちご」が各基地を出港し奥尻島に向かった。その他、三管本部の巡視船「うらが」「のじま」、七管本部の巡視船「ちくぜん」「げんかい」、九管本部の巡視船「やひこ」のほか、一管本部、二管本部、三管本部、九管本部の航空機が多数派遣された。

7月15日には一管本部から連絡調整官が道の災害対策本部に派遣され、道との連絡調整にあたった。海上保安庁は主として緊急物資及び人員の輸送と行方不明者の搜索救助活動を実施した。

地震により奥尻島と本道を結ぶフェリー輸送路は、岸壁が使用不能となったため、しばらくの間途絶した。このため奥尻島に渡る警察官等の災害派遣要員や食糧・毛布・生活必需品・医薬品等の緊急支援物資を巡視船艇で輸送した。

人員及び物資輸送状況
(第一管区海上保安本部資料)

区間	日								計
	13日	14日	15日	16日	17日	18日			
江差 → 奥尻	4回 399人	2回 177人	2回 337人	3回 13人			11回 926人		
奥尻 → 江差	4回 271人	2回 48人	3回 149人	1回 12人		1回 4人	11回 484人		
青森 → 奥尻	1回 1人						1回 1人		
函館 → 奥尻	1回 3人 (航空機)	1回 5人	1回 3人 (航空機)				3回 11人		
奥尻 → 函館			1回 3人 (航空機)				1回 3人		
神威脇 → 奥尻		1回 6人					1回 6人		
神威脇 → 江差		1回 5人					1回 5人		
計	10回 674人	7回 241人	7回 492人	4回 25人		1回 4人	29回 1,436人		
江差 → 奥尻	3回 13.7ト	1回 8.9ト	3回 92.8ト	4回 28.9ト	1回 0.1ト		12回 144.4ト		

緊急物資輸送状況

(第一管区海上保安本部資料)

月日	船名	区間	品目 (トン)				計	回数	備考
			飲料水	食料	燃料	衣類			
7. 13	しれとこ	江差 - 奥尻		3.0			0.1	パン・牛乳 ほか	
	さろべつ	"		9.0	1.3		0.2	米・塩・味噌 ほか	
	しれとこ	"				0.1	0.1	ドライアイス	
計				12.0	1.3	0.4	13.7		
7. 14	しれとこ	"	1.5	6.0		0.4	1.0	8.9	毛布・水・柶 ほか
	計		1.5	6.0		0.4	1.0	8.9	
7. 15	しれとこ	"		54.0			0.3	54.3	簡易トイレ・カップ麺 ほか
	ちとせ	"		3.0			32.0	35.0	米・薬品 ほか
	ましゆう	"			2.5		1.0	3.5	ジュース・ガスコンロ ほか
計				57.0	2.5	33.3	92.8		
7. 16	くなしり	"	1.0	0.0		2.0	0.8	3.8	毛布・肌着・パン・うどん ほか
	ちとせ	"	5.6	2.4			6.8	14.8	米・水・ジュース・牛乳・医薬品 ほか
	だいおう	"	2.4	7.5			0.3	10.2	医薬品
	かわざり	"					0.1	0.1	
計			9.0	9.9	0.0	2.0	8.0	28.9	
7. 17	くなしり	江差 → 奥尻					0.1	0.1	医薬品
	計								
累計			10.5	84.9	3.8	2.4	42.8	144.4	12

行方不明者の搜索活動は、航空機と巡視船艇の連携による洋上搜索、特殊救難隊と巡視船潜水士による被災地周辺海域の潜水搜索を重点として行なわれた。

7月13日から16日までの海面搜索は沿岸海域を重点に実施され、潜水搜索については奥尻町青苗・稲穂、大成町の沿岸を中心に実施された。17日から20日にかけては、奥尻島北側海域で多数の行方不明者が発見されたことから、沿岸海域の搜索にあわせ奥尻島北側海域に搜索範囲を広げることとし、潜水搜索については引き続き奥尻町青苗・稲穂、瀬棚町の沿岸を中心に実施された。21日から8月2日にかけては、奥尻島北側海域を重点に実施され、潜水搜索については奥尻町青苗・稲穂の沿岸を中心に実施された。3日から31日までは、搜索重点海域を奥尻島と本道南西沿岸海域に移し、さらに7月27日以降行方不明者の発見がなく、また地震から1ヵ月が経過していることから段階的に搜索体制が縮小された。潜水搜索については引き続き奥尻島青苗を重点的に実施することとなった。特に潜水搜索は、最悪の条件下で困難を極め、奥尻町青苗沿岸では津波で流出した家屋や漁具等が多数浮遊し、海中も津波で流出した車両、家屋、漁具、消波ブロックなどがおびただしく散乱しており、視界約0.5メートルの中、手探りの搜索を強いられた。また、奥尻島周辺海域での潜水搜索は、海上自衛隊、警視庁、北海道警察、東京消防庁等も実施していたため、搜索前に各搜索機関が集まり連絡調整会議を開き、搜索状況の情報を交換し搜索範囲の調整を行ない搜索活動の効率化を図った。また、海上搜索については海上自衛隊大湊地方総監部と毎日のように搜索活動の情報を交換するとともに搜索海域の調整を行なった。

4 消防機関

地震から一夜明けた7月13日、地震による被害情報が現地から刻々と入ってくるにつれ被害は想像を絶するものとなり、もはや一市町村の消防力では手の打ちようがなくなった。そこで道は9時45分、自治省消防庁に消防応援を要請し、同時刻自治省消防庁は東京消防庁に応援出動を要請した。

東京消防庁は自治省消防庁の要請に基づき、13日、消防ヘリコプター2機を被災地に派遣した。翌14日には救援車3台と水難救助隊員11人を含む隊員24人を被災地に派遣した。19日までの7日間にわたり、ヘリコプター3機、車両3台、人員延べ44人により行方不明者の搜索・救助にあたった。

また、北海道広域消防相互応援協定に基づき、札幌市消防局が消防ヘリコプター1機、車両3台、人員延べ165人、函館市が車両5台、人員延べ184人を応援派遣したのをはじめ、八雲町、渡島西部広域事務組合、南渡島消防事務組合、渡島東部消防事務組合、森町、長万部町、苫小牧市、胆振東部消防組合、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見地区消防組合からも応援派遣され、奥尻町での行方不明者の搜索・救助にあたった。

第2 ボランティアの活動状況

今回の地震災害では、救援物資の受入れ窓口となった檜山地方本部や最も被害の甚大であった奥尻町を中心に、日赤奉仕団のほか個人、企業、団体などの多くのボランティアが活躍し、被災者の円滑な救援に貢献した。

1 主な活動の内容

(1) 救援物資の受入れ、仕分け、配付等

檜山地方本部や奥尻町をはじめとする被災町村においては、救援物資の受入れ、仕分け、被災者への配付などの活動を行った。また、遺体の棺の提供や安置作業のノウハウなどの協力を行った。

(2) 救援物資などの輸送手段の提供

被災地周辺では、救援物資の輸送手段が不足していたことから、車両や舟による物資輸送を行ったほか、地震発生直後、奥尻町は離島である上に、定期航路が使用できなくなったことから、救援要員や物資をヘリコプターなどで輸送した。

(3) 避難所での炊出し

避難所において炊出しを行ったほか、江差町や函館市内で調理したものを奥尻町へ空輸するなどの活動もあった。

(4) 応急仮設住宅への物資等の搬入

応急仮設住宅へ、冷蔵庫、炊飯器、洗濯機、その他日用品など救援物資の搬入を行ったほか、入居の際の引越しの援助も行った。

2 ボランティアの受入れ状況

檜山地方本部には、個人や団体からボランティア活動についての多くの申し出があり、作業内容やスケジュール等の調整を行って活動に参加していただいた。なお、自ら移動手段、食事等が確保できない団体など、受け入れができないケースもあった。

平素からボランティア活動を行っている企業や団体などは、指揮系統が明確であることから組織的な活動ができたほか、輸送業者は物資の取扱いの経験を生かすなど、大量の救援物資の受入れ、仕分け、配付などに大きな力を発揮した。

なお、檜山地方本部が把握している救援物資の受入れ、仕分け、配付などに従事したボランティア活動者数は、奥尻町において7/13～10/29の間に延べ5,468人、江差町において7/15～10/7の間に延べ3,532人、合計延べ9,000人となっている。

第3 救援物資の配付状況等

地震発生直後は、避難者を中心に被災者の当面の生活に必要な物資の確保に努めるとともに、関係機関などの協力のもとに、被災者への迅速な物資の配付を行った。

1 物資配付の概要

被災者へ配付した物資については、①災害救助費で購入した物資、②日本赤十字社の備蓄物資、③全国から寄せられた救援物資などにより、緊急度、必要度を勘案しながら被災地へ供給した。

奥尻町は、離島という条件から物資の輸送手段が限られたため、災害発生からフェリー定期航路が再開し流通体制が平常に戻るまでの間は、自衛隊、海上保安庁、警察庁、民間などの協力を得て、舟艇やヘリコプターにより輸送した。

(1) 災害救助費で購入した物資

米、乾パン、粉ミルクをはじめ炊出しに必要な食料品、飲料水の供給のためのポリタンク、当面の生活に必要な衣料品などを調達し、配付した。

(2) 日本赤十字社の備蓄物資

避難所生活に必要な毛布、洗面用具などの日用品セット、非常食などのお見舞品セットなどの日本赤十字社が備蓄している物資を配付した。

(3) 全国から寄せられた救援物資

檜山地方本部へは、地震発生直後から、道内はもとより全国各地の個人や団体から衣料品や食料品を中心に大量の救援物資が届けられたことから、被災地における優先度を考慮しながら、配付した。

なお、地震発生直後には多数の死者が発生したことから棺が提供されたほか、印鑑、テレビ、自転車など今後の被災者の生活を考慮した物資についても、関係業界や団体などから提供された。

2 物資の内容と配付時期

具体的な物資の内容とその配付時期については、被害が最も甚大であった奥尻町における主なものは次のとおりである。(表3-3-1参照)

(1) 食料品等

・災害発生当初は、自衛隊からの緊急食料(缶詰等)によっても対応した。

・避難者へ炊出しを実施し(7/13～8/28)、米、塩、味噌、粉ミルクなどを調達したほか、15～16

- 日には、日赤奉仕団の協力のもとに、おにぎりや豚汁などを函館、江差から空輸した。
- ・魚や野菜などの生鮮食料品は、7月17日から海上輸送した。
 - ・救援物資からも食料品及び飲料水を優先的に輸送した。
- (2) 医薬品
- ・緊急医薬品を国保病院へ輸送した。(7/13：自衛隊)
- (3) 衣料品
- ・下着等の衣料品を救援物資から配付した。(7/13～)
- (4) 日用品
- ・日用品セット、お見舞セットを配付した。(7/13：日赤)
 - ・紙おむつ、哺乳瓶、生理用品などを配付した。(7/13～)
- (5) その他
- ・毛布を配付した。(7/13：日赤)
 - ・棺を関係者の協力により調達した。(7/13～)
 - ・青苗など3地区に仮設風呂を設置した。(7/20)
 - ・仮設住宅入居世帯へ、救急箱、炊飯器、洗濯機、冷蔵庫（以上、日赤）、寝具、その他日用品等を配付した。
 - ・テレビ、ラジオ、自転車は救援物資の中から配付した。
 - ・印鑑を関係者の協力により作成し、配付した。

表 3-3-1 平成 5 年北海道南西沖地震における被災者への物資の配付状況

NO.1

時期	記 事	住民からの要望	道、関係機関が手配	支庁が手配	町が手配	民間の協力 (救護物資など)	備 考
7/12(月)	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生 災害救助法適用 避難者2,014人 炊出し開始 (本町) ※鳥への輸送手段 <ul style="list-style-type: none"> 海上保安部、自衛隊艦艇 自衛隊、警視庁、民間等へリ (7/18頃まで) 	<ul style="list-style-type: none"> 食料品 水 (飲料水、生活用水) 下着類 医薬品 寝具 生理用品 粉ミルク、おむつ 電話 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急食料品 (自衛隊) (五日飯缶、鶏飯缶、赤飯缶、味付け牛肉缶、ソーゼージ缶、たくあん缶) 医薬品 (日赤救護班携帯) (医薬品 (自衛隊から国保病院へ、抗生物質、消毒剤、絆創膏など)) 毛布2,810枚 日用品セット 1,240セット お見舞品セット 1,796セット (7/18まで、札幌から;日赤) 	<ul style="list-style-type: none"> 米、乾パン、味噌、塩等 粉ミルク、紙おむつ (江差、函館等から) ドライアイス 	<ul style="list-style-type: none"> 米、味噌、塩、漬物、梅干、ソーセージ等 (町内北部の炊出し用) 懐中電灯 (避難所用) 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水 毛布 大根 インスタントラーメン (1,000食) パン、牛乳 (2,000食) 衣類等 (下着、上着) 	
7/13(火)							
7/14(水)	<ul style="list-style-type: none"> 救護物資無料受付 (8/13まで、郵政省) 避難者1,602人 南部と北部を結ぶ道路が仮開通 	<ul style="list-style-type: none"> 衣類 トイレットペーパー 燃料 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急食料品 (自衛隊) (前日分と合わせて、8,500食) 	<ul style="list-style-type: none"> 米、パン等 燃料 (ガス、ガソリン) ガスコンロ 生理用品 	<ul style="list-style-type: none"> ドライアイス (以下、適宜) 線香、ろうそく 食料品 (町内北部) トイレットペーパー 	<ul style="list-style-type: none"> 棺 (100組) 飲料水 毛布 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所等に無料臨時電話を設置 (NTT)
7/15(木)	<ul style="list-style-type: none"> 瀬棚航路再開 (15日は1便) 避難者1,477人 	<ul style="list-style-type: none"> 風呂 	<ul style="list-style-type: none"> おにぎり (函館から空輸;日赤) 	<ul style="list-style-type: none"> 米、ほか食料 	<ul style="list-style-type: none"> 食料品 (本町へ汁物) (青苗地区へは本町側からおにぎりを輸送) 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水 (ミネラルウォーター—6,000ℓ) 毛布 缶コーヒー カップ麺 仮設トイレ 棺 (50組) 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所にテレビ設置
7/16(金)	<ul style="list-style-type: none"> 江差航路再開 (16日は1便) 青苗中に臨時郵便局 避難者1,397人 		<ul style="list-style-type: none"> 豚汁 (江差から空輸;日赤) 	<ul style="list-style-type: none"> 紙おむつ、哺乳瓶 米、粉ミルク ポリタンク 洗面器 	<ul style="list-style-type: none"> 炊出し道具 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水、衣料品、食料品等 (以下、随時配付) 棺 (50組) 	
7/17(土)	<ul style="list-style-type: none"> 函館空路再開 (奥尻地区) 避難者1,307人 青苗地区で炊出しを開始 	<ul style="list-style-type: none"> 食料品 (生鮮食料) 	<ul style="list-style-type: none"> 炊出し道具 (青苗中ほか;日赤支那部から空輸) カレーライス材料 (江差から空輸;日赤) 学用品 (7月中旬に、教科書、文房具など) 	<ul style="list-style-type: none"> 食料品 (生鮮食料) 	<ul style="list-style-type: none"> 食料品 (以下、適宜) 		

平成5年北海道南西沖地震における被災者への物資の配付状況

NO.2

時期	記	事	住民からの要望	道、関係機関が手配	支庁が手配	町が手配	民間の協力(支援物資など)	備考
7/18 (日) 、 7/24 (出)	<ul style="list-style-type: none"> ・救援物資については緊急物資のみの輸送(7/18から) ・総選挙(7/18) ・小中学校で繰り上げ終業式(7/20) ・救援物資自粛呼掛け7/21、檜山地方本部) ・避難者1,227人(7/18) 	<ul style="list-style-type: none"> ・理髪 ・老眼鏡 ・現金 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設浴槽(日赤道支部など:青苗、米夙、稲穂) ・避難所用食器、洗濯機、洗剤、ドライアイス、防腐剤(日赤道支部から空輸、材料費は道費) 	<ul style="list-style-type: none"> ・老眼鏡 ・生理用品 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所用洗濯機、冷蔵庫 ・理髪セット 	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食料品 ・棺(10組) 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者に対し、一律5万円を町が見舞金として支給(7/21) 	
7/25 (日) 、 7/31 (出)	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅入居(7/28、第1次100戸) ・救援物資自粛呼掛け(7/27、道) ・避難者 653人(7/25) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅入居の際の物資 ・炊事道具、食器等 ・寝具 ・テレビ等家電製品 ・その他日用品 ・自転車 	<ul style="list-style-type: none"> ・日用品セット(仮設住宅用に400セット:日赤) 	<ul style="list-style-type: none"> ・炊事道具、食器、日用品等(仮設住宅入居時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫、炊飯器、洗濯機(日赤対応) ・寝具・カーペット ・衣料品 食料品(以上、仮設住宅入居時) ・自転車(抽選) 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫、炊飯器、洗濯機(日赤対応) ・寝具・カーペット ・衣料品 食料品(以上、仮設住宅入居時) ・自転車(抽選) 	<ul style="list-style-type: none"> ・天皇・皇后両陛下ご訪問(7/27) 	
8/1 (日) 、 8/14 (出)	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅入居(8/9、第2次100戸) ・(8/14、第3次100戸) ・避難者 584人(8/1) ・青苗地区に農協飯店舗が営業開始(8/12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅入居の際の物資 		<ul style="list-style-type: none"> ・炊事道具、食器、日用品等(仮設住宅入居時) 		<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫、炊飯器、洗濯機(日赤対応) ・寝具・カーペット ・衣料品 食料品(以上、仮設住宅入居時) 		
8/15 (日) 、 8/28 (出)	<ul style="list-style-type: none"> ・応急仮設住宅入居(8/27、第4次30戸) ・避難者 19人(8/15) ・避難所解消(8/28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅入居の際の物資 		<ul style="list-style-type: none"> ・炊事道具、食器、日用品等(仮設住宅入居時) 		<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫、炊飯器、洗濯機(日赤対応) ・寝具・カーペット ・衣料品 食料品(以上、仮設住宅入居時) ・テレビ ・ラジオ、ラジカセ ・印鑑(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・救急箱配付(日赤) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・日用品セットの内容> ・歯ブラシ、歯みがき粉 ・タオル ・石鹸 ・鏡、くしセット ・ひげ剃り 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーン、フォーク、ナイフ ・紙コップ ・缶切り ・紙ハンカチ、ポケットティッシュ ・救急絆、裁縫セット 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーゼ(三角巾) ・洗濯洗剤、洗濯バサミ ・洗濯物干ロープ、紐 ・メモ帳セット ・軍手 	<ul style="list-style-type: none"> ・お見舞品セットの内容> ・粉末味噌汁 ・ポテトサラダ缶 ・牛肉大和煮缶 ・福神漬缶 ・乾パン缶 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィンナーソーセージ缶 ・フルーツみつ豆缶 ・さんま蒲焼缶 ・缶切り ・スプーン、フォーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅干(箱入) ・ドロップ ・ウイスキー(180ml) 			

